

キャンプ2日 ウォーキング

「また、また、き・き・奇跡だ！ 朝方まで降っていた雨が上がった
ではないか！」 聞くとところによると、あるボーイ隊スカウトの、雨避け
チーリンのテルポー(テルテル坊主)が、壊れたようだ。自分の
身を挺して晴れにしてくれたのだ。まさに、「身代わりテルテル坊主
さま」なのだ。「ありがとうテルポー。合掌」たぶん、昨日も晴れに
してくれたに違いない。



磐梯パノラマコース

磐梯パノラマコースはIVV(国際スポーツ市民連盟)加盟
のコースで、JVA(日本市民スポーツ連盟)・日本ウォー
キング協会の公認コースであり、国立磐梯青少年交流の家
が基地となって記録証の発行などを行っています。完歩し
たときは、事務室までおいでください。全行程12.7km。
アップダウンも結構あります。と、HPに紹介があったので、
事務所で確認したところ、HPには載っているが、記録証を
見たことがないようで、再確認を依頼した結果は、数年前
から、協会に登録料が未払いのため抹消されたようだ。残
念！ こうなりや、M副長が「記録証」を作つてやらなければ
なんねーな？



今回のコースについての概要説明です。隊長より、12.6kmで土浦あたりまでの距離と聞いて、スカウトたちは
「エーッ！」 M:「こんなもんで驚いているんでない！」

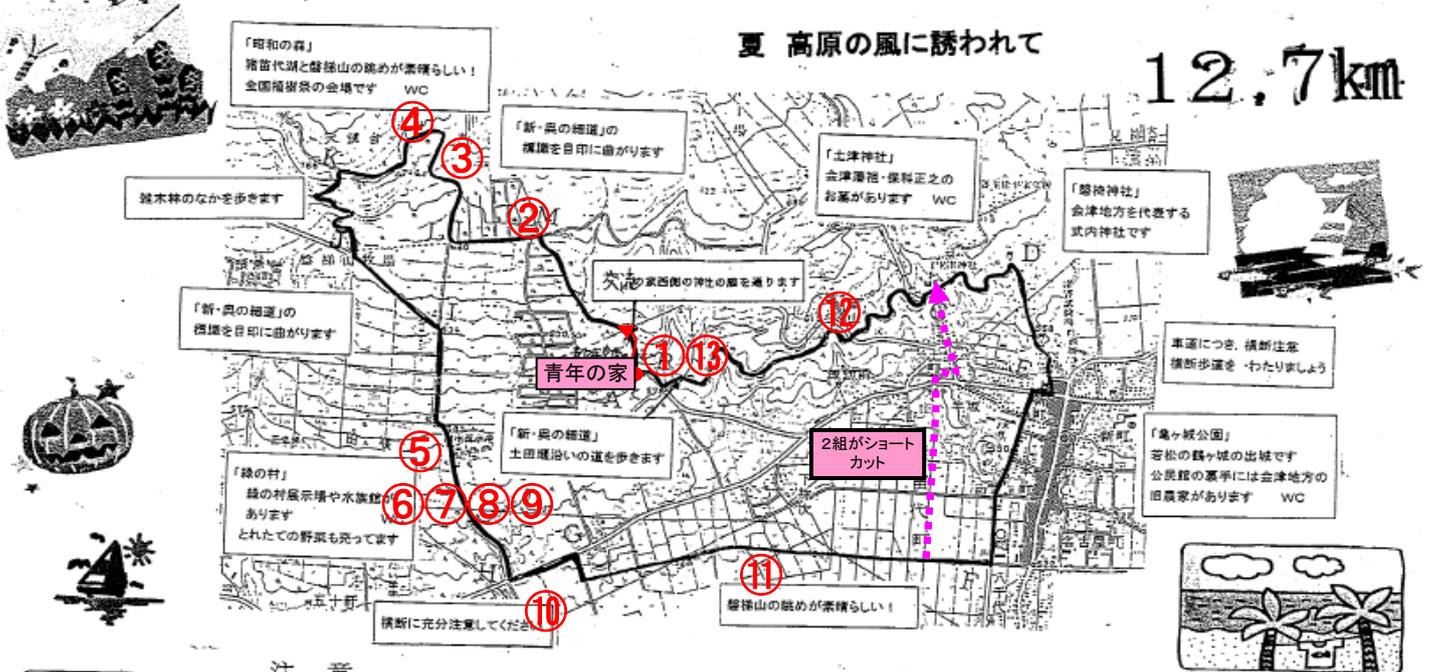
磐梯パノラマコース

春 若葉の息吹を感じて

秋 色づく樹木に魅せられて

夏 高原の風に誘われて

12.7km



注意

- 遅くとも13時までに出発して、16時までにお戻りください。
- 交通量の多い車道を通りますので、十分にお気をつけください。

国立磐梯青少年交流の家
2008.8 修正





1組出発。M副長が同行しないので、これからのコースの状況の記録は、Y副長配布予定のスライドショーDVDをお楽しみに！



天鏡台付近からの、猪苗代湖の風景。ビューティフルなのだー！



出発して5分の1の上り坂。ちょっとへろへろかな？



ボーイ隊のハイキングの目的「三角点を探せ！」これは昭和の森駐車場のフチにある三角点標識。標高746.2mです。



昭和の森の休憩所で、ちょっと休憩。



おや！なんで先に行った1組のスカウトがいるんだ？「実はかくかくしかじか」「フムフム、なるほどね」



これはなんじゃー？！

地図マニア垂涎の「電子基準点」だそうだ。なかなか見れないそうで、ボーイ隊長は、近くまで行き御参りをした。下の写真2枚は、ボーイ隊長の撮影によるものです。

⑤



電子基準点の地図記号



うーん、マッチ棒の親分みたいだなー。

残念です。SUS(ステンレス)製のため光って文字の認識が困難である。

電子基準点（でんしきじゅんてん）とは、測量における基準点、観測点の一つ。国土地理院は、精度の高い測量網、地殻変動を監視するシステムとして、GPS連続観測システム（GEONET: GPS Earth Observation Network System）を構築した。電子基準点は、その観測点（GPS連続観測点）である。「電子基準点データ提供サービス」によって観測データが、「基準点成果等閲覧サービス」によって成果値が提供されるなど、国土地理院のサービスによって様々な観測データ・結果を照会できる。

〈概要〉

2007年現在日本全国におよそ1,200地点存在する。

高さはおよそ5mの金属製。GPS衛星からの電波を受信する 24時間連続観測、観測センターへのリアルタイムデータ送信。基礎部に金属標（電子基準点付属金属標）が埋設してある。

電子基準点のピラーの形状は、下の写真のように、設置年度により4種類の形状に大きく分けられていて、今回のものは94年型のようなのだ。



地図記号: いくつか分かるかな！



GPS連続観測システム

GEONET(GPS Earth Observation Network System)

GPS連続観測システムとは

GPS連続観測システム(GEONET: GPS Earth Observation Network System)とは、全国約1,200ヶ所に設置された**電子基準点**とGPS中央局(茨城県つくば市)からなる、高密度かつ高精度な測量網の構築と広域の地殻変動の監視を目的とした国土地理院によるGPS連続観測システムです。

地殻変動の監視

全国の電子基準点で取得された観測データをもとに、地震や火山の活動に起因する地殻変動を把握することで、そのメカニズムを明らかにしています。また、日本周辺のプレート運動が日々実測され、例えばゆっくり地震などといった他の観測手段では捉えられない現象を捉えることができます。GEONETは地殻変動観測に欠かせない基本的な観測網としての役割を果たしています。

電子基準点を利用した測量

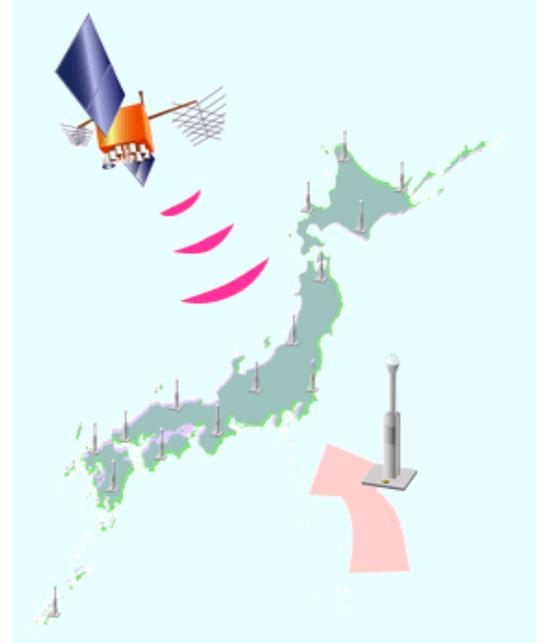
GPSによる測量では、既知点と新点にGPS機器を設置し相対測位(干渉測位)を行い、既知点からの位置関係を測定して測定点の座標を割り出します。

電子基準点を既知点として用いることで、利用者が自分で既知点にGPS機器の設置を行う必要がなくなります。国土地理院が提供する電子基準点データを利用し、新点でGPS観測を行うだけで新点の座標を得ることができるため、作業の効率化が図られます。このように電子基準点は、GPSを用いた測量のインフラとして活用されています。

測量成果におけるGEONETの役割

電子基準点や三角点などの測量成果は、基本的に座標値が固定されています。しかし、日本のような地殻変動の大きい地域では、固定された座標値と実際の座標値との間に時間とともにずれが生じてきます。このずれが大きくなって測量に不都合が生じた(許容範囲を超えた)場合には、測量成果の改定を行う必要があります。

GEONETによる地殻変動観測は、測量成果改訂の判断材料として、適切な測地基準点体系の維持管理に役立っています。



1組同行の隊長からの情報で、緑の村展示館近くの、足湯で一息。ス:「ふー、疲れが吹っ飛んだー」 M:「本当かよ?」

足湯近くの、朴の木の実。初めてみた。ちなみに上の写真がはなである。ドラゴンフルーツみたいだけど、これって食べられるのか?

⑧



緑の村の、軽便鉄道。1組情報によると、この先食事する場所が無いようだ。

⑨



付近にベンチが無く、軽便鉄道の客車内で昼食である。この後、小型のスズメバチが侵入し、大騒ぎしたらしいが、全員無事であった。

⑩



全行程の約半分。だいぶへばって来ているようだ。

⑪



田んぼの道で、磐梯山の眺めが素晴らしいポイントである。頂上には少し雲がかかっているようだ。

⑫



「土田堰」です。今から約300年以上前に人夫35万人、金子1,000両をついやし、保科正之公が造らせた灌漑用水路。約12km余の水路を開削したそうである。今も水がコンコンと流れている。

⑬



ゴール！途中で、1組を抜いてしまった。どうやら新しい道路が出来ていて間違ってショートカットをしてしまったらしい。



夕べの集いで団体紹介の行います。大勢の前で緊張しているスカウトたち。でも、ちゃんとしゃべれました。みごとじゃ！周りの他の団体の人たちも、感心していたぞ。



食事は、ハイキングである。でも、なんじゃこりゃ？こんだけしか食べないのか？我が家の猫のエサの量と代わんねーけど！



こやつも、猫のエサぐらいか！ ハイキングでくたびれたと言っていたのに、体育館でバスケだか、卓球だかやっていた、こやつらめのエネルギー源はなんだ！



雨のためキャンプファイヤは中止し、グラスキャンドルで、親睦の火(ボンファイア)に変更です。*親睦の火とは、歌・スタツなどの出し物によって、大勢の参加者が楽しむ営火のことである。



儀式的火(セレモニアルファイア)のような、幻想的な雰囲気である。



じっと炎を見つめると心が落ち着くのであった。





ボーイ隊の出し物。痛々しくて見ていれない。今後のためにはっきり言う。「企画倒れだな！」



カブ隊は、神妙に聞き入っているようだ。



リーダーの出し物。今回のキャンプのメインテーマ山賊にちなみ「山賊ゲーム」 Y副長が山賊のオヤビンで、隊長がコビンのヤスである。



3日目の朝食。また、猫のご飯状態か！フリカケ2袋・味のり・マカロニサラダ・オレンジジュース。量は少ないが、バランスはまずまずか？味噌汁はどうした！そのケチャップは何に使う！



こやつは、ウインナー2本に、ヒジキ煮・味噌汁か、まあ、良いか！「ところで、ボーイ隊長、我々は昨晚の夕食は、食べましたっけか？」 * 2人の最近お気に入りのギャグである。



さくばんもは、落雷はなかったが、雨であったのでキャンプ管理棟に宿泊した。テントの点検を受けた後、本館へ移動する。



研修室で、ソングの練習です。



こちらは、キムスゲーム。記憶力を計るのである。



<ぼくはくま> 作曲:宇多田ヒカル 変詞:M副長
ぼくはくま くま くま くま 本物じゃないよくま くま くま
よく見りゃ剥製だよ スカウトもくま くま くま しか



たぬき・きつね・ねーちゃん「あっ！ んがついた」



ケンダマに挑戦のY副長。昔取った杵柄は、完全に折れてしまったようだ。あまりにも、出来ないので心も折れたらしい。



食事前の卓球大会。こやつめらの体力はどうなっているんだ！こちらは、ヘロヘロである。



でも、良く見て欲しい。立っている指の数が違うぞ！ 何故だか気が付いたかな！ そう！カブサインを現しているだー！ ス:「お・おお——！ すごー！ でも怖え——！」

そうだ、今年の里美カサ祭り
の作品はこれにしよう！ ところ
で、なんて言うんだこいつは！



リーダーパトローリング用の旗。どっかで見たことがあるって！ 「20世紀少年」のパクリだー！ てか、パクリではなく引用だ。



玄関前で、記念写真。



今度は、猪苗代湖を、バックに記念写真。下の広場は、バスケのコートである。



退所式。「お世話になりました」これよりバスにて帰ります。



無事、刈谷自治会館に到着。長:「みんな、楽しかったですか？」 ス:「ハイ！」 全員手を揚げていないがどうした。

～ これらのページの文及び写真(2枚ボーイ隊長)は、カブ隊M副長によるものです。～
このあとのページに工作コーナーもあるからぜひ見てね！
ボーイスカウト茨城県連盟のHPにも、4団の写真が載っているぜ！

水道（塩ビVP）パイプで作る簡単水鉄砲

茨城県南部式水銃 VP-25φ型 Archerfish



今回の、カブキャンプでのカヌー訓練に際し、操船技術向上(停止・旋回・発進)のため？水鉄砲で「源平合戦・小野川の陣・那須与一なのだー」が、某隊長より提案されました。そこで、M副長こと工作2課長の出番です。週末、嫁の実家の旧里美村に帰省して、竹製の水鉄砲を作成するつもりが、友人宅に不幸があり、真竹の調達が困難となったため、急遽、水道パイプを使用することを思いつきました。ノコギリで切って、接着剤でくっつけるだけで簡単に作れるのである。実は、我が家の庭の水道は自分で分岐して設置したのだ。(法令上は違反らしい?)でも、結局使わず仕舞いであった。残念無念！

材料

今回は、50cmを基準にしていますが、サイズは各自お好みでどうぞ！



塩化ビニールパイプ VP(肉厚管)
13mm 50cm 1本
25mm 50cm 1本



塩化ビニール継手 (キャップ)
13mm用 1個
25mm用 1個



塩化ビニール継手 TSチーズ
13mm用 1個



薄手の布とタコ糸

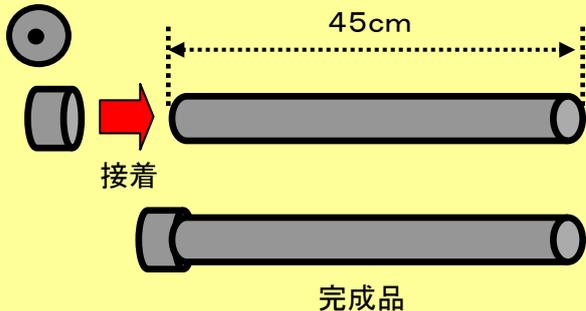


塩化ビニール VP管用接着剤

*その他
水の出る穴を開けるための
キリまたはドリル

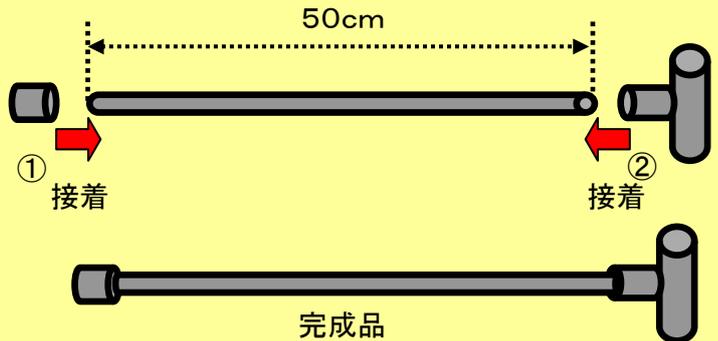
1. シリンダー(筒)の作成

- ①25mmのパイプを45センチぐらいに切る。
* 完成後、長さの調整を行う。
- ②25mm用キャップを接着(強く押し込む)する。
* 接着前に、水の出る穴(2mm位)を開けても良い。



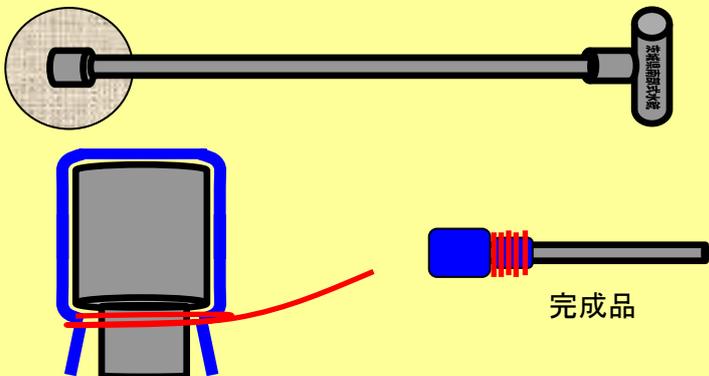
2. ピストン(押し棒)の作成

- ①13mmのパイプにキャップを接着(強く押し込む)する。
- ②13mmのパイプに継手 TSチーズを接着(強く押し込む)する。



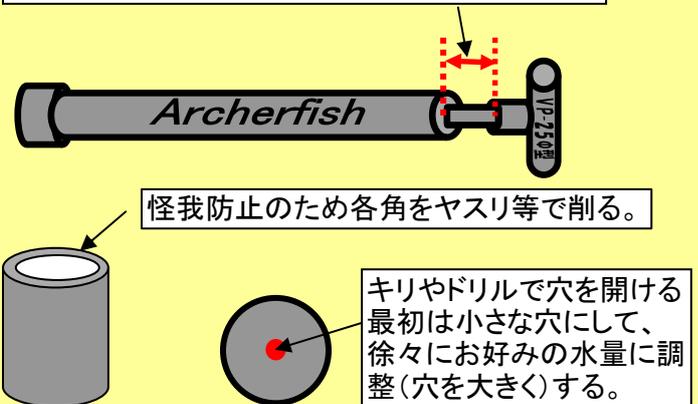
3. ピストンのシール作成

- ①シリンダーとピストンの間隙を埋める。今回はシール材として、手ぬぐいを使用。
- ②手ぬぐいで、ピストンの先を包み込み、タコ糸で縛る。



4. 完成(微調整)

水を押し出した時、指が挟まらないか確認。
* 危険な場合は、シリンダーを切って短くする。



今後の改良案

左の写真のような、先端が丸まった給湯用塩化ビニール継手 HTキャップ(25ミリ)と言うキャップがあるそうだ。これは、先端が窄まっているので、発射威力と命中率が高まるに違いない。今度、作ってみよう！でも、これからの季節、「水鉄砲」と言うのもなんだなー！ 来年のために、お風呂で「お湯鉄砲」で研究しよう。シリンダーの先端にキャップを付けなければ、紙鉄砲にもなりそうだ！

